

【事業者向け】放課後等デイサービス(みらいへのいえ 美濃川合) 自己評価表 2025/5/1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			指導訓練室/利用定員=十分なスペースを有する
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			利用数/職員=十分適切である
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			指導訓練室及びプレイルーム等配慮されている
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			Plan、Do、Check、Actionに関して、事業所会議にて目標設定→実行→検証→改善を行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	<input type="radio"/>			保護者様・利用者様・従業員の意志の疎通を通じ業務改善に繋げる
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか		<input type="radio"/>		積極的に第三者による外部評価を業務改善に繋げて行きたい
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			積極的に受講資格の有る者は受講している
適切 な 支 援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			各事業所にてアセスメントを基に会議を行い、児童発達管理責任者だけでなく全員で、支援計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			行動分析等利用し、アセスメントツールを活用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			事業所会議にて活動プログラムの立案を行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			季節や利用者様の状況を踏まえている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			活動・支援時間によりきめ細かく課題を設定している

サービスの提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者様の状況を踏まえ計画を作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ホワイトボードやネームプレート等を使い、日々確認をしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			P D C A サイクルでその日の確認をしている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋がっているか	○			利用者様一人ひとり、支援に関して正しく記録を取り、検証・改善に繋がっている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			当然に、必要性を判断している
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			放課後等デイサービスのガイドライン②基本活動に則り支援を行っている
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			弊事業所は相談支援事業所を併設しているので月例のサービス担当者会議には精通した者が参画している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校及び保護者様との情報交換・共有等、密に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			モニタリング時にて、主治医の連絡先及び服用の種別等確認を行なっている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			情報共有、相互理解に努めている
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者様及び利用者様に承認確認後であれば、支援情報等、開示可能である	
㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターや発達障がい者支援センターには、適時、訪問し助言を受けている	

携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			定期的に日曜日（定休日）に施設を無料開放し近隣住民様や保護者様及び利用者様の集いの場を提供している
	②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加している
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			モニタリング、送迎時に日々の利用者様の状況等、伝え共通理解を深める
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者支援の観点からペアレント・トレーニング及びレスパイトケアの支援を行う
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者支援の観点からペアレント・トレーニング及びレスパイトケアの支援を行う
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的に日曜日（定休日）に施設を無料開放し近隣住民様や保護者様及び利用者様の集いの場を提供している
保護者への説明責任等	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決にあたる、対応者及び責任者を選出し体制を整えている
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動概要、行事予定及び連絡体制の情報は定期的に発信している
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			書類等、鍵付書庫を活用し管理している
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思の疎通を有効にするため、可視化（見える化）にしている
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			定期的に日曜日（定休日）に施設を無料開放し近隣住民様や保護者様及び利用者様の集いの場を提供している
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内にて掲示及び周知している

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練や地域警察署にて利用者様同席のもと講義、助言を受けている
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			積極的に研修や指導を行っている
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約、アセスメント及びモニタリング時に十分説明をし、ご理解頂き、保護者様に同意書を頂いている
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメント及びモニタリング時に食物アレルギーの確認をとり、医師の指示書や保護者様からの指示があれば掲示し徹底している
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットをファイル化し、事業所内にて共有している